

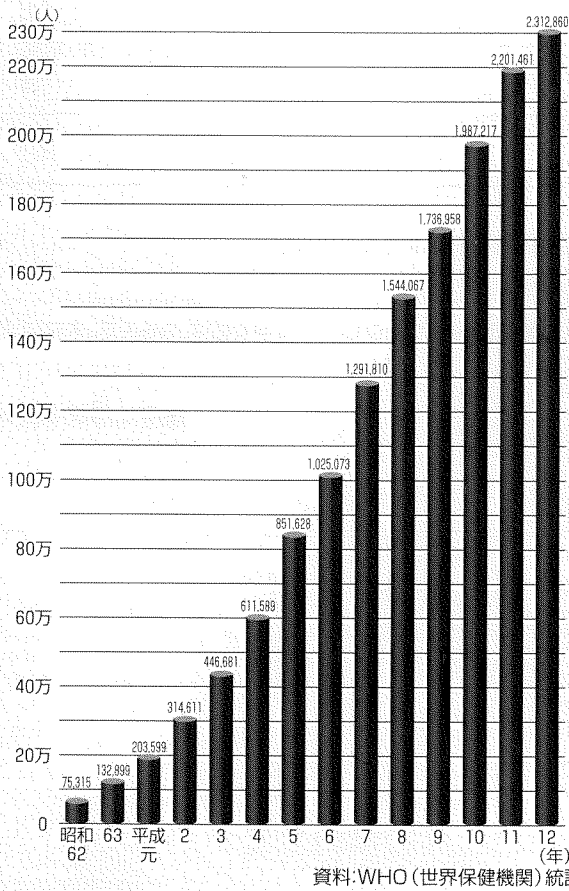
資料6 エイズを正しく理解しよう！

世界中でエイズのウイルスに感染する人が増えています。

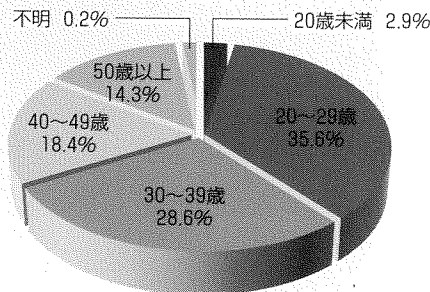
世界では平成12年11月までに約230万人のエイズ患者がWHOに報告されていますが、生存している感染者数は3,610万人(平成12年末)にのぼると推計されています。

我が国でも、特に若い世代を中心にエイズのウイルス(以下「HIV」とする)に感染する人が急増しています。

■世界のエイズ患者届出数の年次累計



■日本のHIV感染者(平成11年12月末現在)(5,029人、患者を含む)の年齢構成



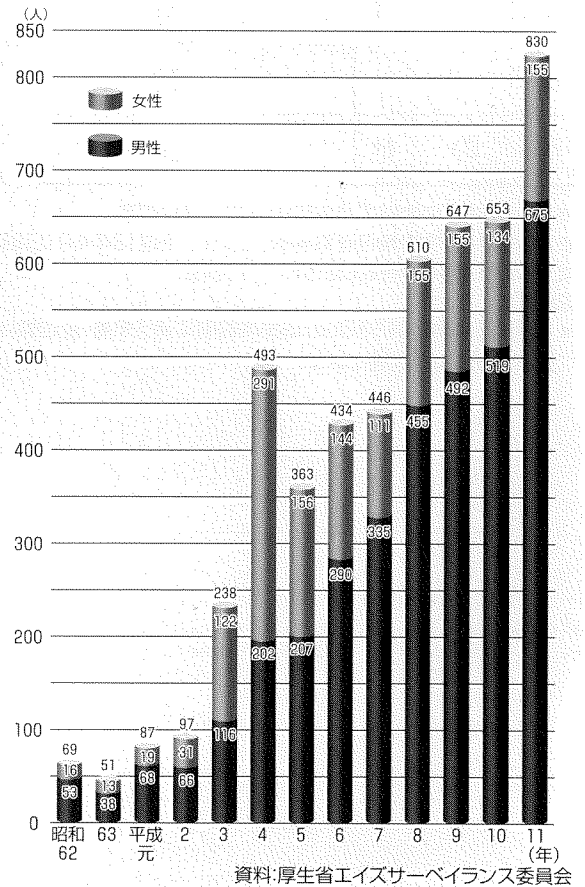
「エイズは自分とは無関係」と考えていませんか？

エイズという病気を正しく理解していませんか。

HIVの感染経路は限られており、学校などのふだんの生活ではうつりません。

しかし、かつてはHIVに感染した人がホテルで宿泊を断られたり、外国では感染した子どもが登校を拒否されたり、といった例があります。

■日本のHIV感染者(患者を含む)届出数の年次推移



これらの問題を解決する
カギは、エイズに関する
正しい理解です。
この冊子でエイズについて
学習しましょう。

中学生用エイズ教育教材より (財団法人日本学校保健会)

1. HIV感染者及びAIDS患者の都道府県別累積報告状況

感染症法に基づくエイズ患者・感染者情報 (平成13年10月1日～12月30日までの調査から)

ブロック名	都道府県名	HIV感染者			AIDS患者			
		今回報告	前回報告	累積報告	今回報告	前回報告	累積報告	
北海道	1 北海道	1	1	35 (0.8%)	0	1	31 (1.4%)	
東北	2 青森県	2	1	10 (0.2%)	1	0	8 (0.4%)	
	3 岩手県	2	0	7 (0.2%)	1	0	8 (0.4%)	
	4 宮城県	1	2	20 (0.4%)	0	1	16 (0.7%)	
	5 秋田県	0	0	6 (0.1%)	0	0	4 (0.2%)	
	6 山形県	0	0	5 (0.1%)	0	0	8 (0.4%)	
	7 福島県	0	1	25 (0.6%)	0	1	13 (0.6%)	
	ブロック計		5	4	73 (1.6%)	2	2	57 (2.5%)
関東・甲信越	8 茨城県	5	1	347 (7.7%)	4	1	154 (6.9%)	
	9 栃木県	2	0	95 (2.1%)	2	1	71 (3.2%)	
	10 群馬県	1	1	69 (1.5%)	1	1	46 (2.1%)	
	11 埼玉県	2	8	192 (4.2%)	7	5	125 (5.6%)	
	12 千葉県	7	17	339 (7.5%)	2	7	192 (8.6%)	
	13 東京都	81	59	1,684 (37.3%)	26	22	698 (31.2%)	
	14 神奈川県	9	15	384 (8.5%)	5	13	204 (9.1%)	
	15 新潟県	2	0	42 (0.9%)	0	0	22 (1.0%)	
	16 山梨県	3	2	61 (1.3%)	0	0	20 (0.9%)	
	17 長野県	3	1	176 (3.9%)	6	6	73 (3.3%)	
	ブロック計		115	104	3,389 (75.0%)	53	56	1,605 (71.8%)
	北陸	18 富山県	0	0	10 (0.2%)	0	1	7 (0.3%)
		19 石川県	0	3	7 (0.2%)	0	0	4 (0.2%)
		20 福井県	0	0	16 (0.4%)	0	0	7 (0.3%)
		ブロック計		0	3	33 (0.7%)	0	1
	東海	21 岐阜県	2	0	22 (0.5%)	1	0	24 (1.1%)
		22 静岡県	9	5	111 (2.5%)	1	2	65 (2.9%)
23 愛知県		15	9	158 (3.5%)	2	3	74 (3.3%)	
24 三重県		2	1	60 (1.3%)	1	1	28 (1.3%)	
ブロック計			28	15	351 (7.8%)	5	6	191 (8.5%)
近畿	25 滋賀県	0	0	10 (0.2%)	2	1	11 (0.5%)	
	26 京都府	0	0	47 (1.0%)	1	1	27 (1.2%)	
	27 大阪府	15	24	295 (6.5%)	7	8	115 (5.1%)	
	28 兵庫県	1	1	58 (1.3%)	2	4	37 (1.7%)	
	29 奈良県	1	0	25 (0.6%)	1	0	10 (0.4%)	
	30 和歌山県	1	0	11 (0.2%)	1	0	13 (0.6%)	
	ブロック計		18	25	446 (9.9%)	14	14	213 (9.5%)
中国・四国	31 鳥取県	0	0	2 (0.0%)	0	0	1 (0.0%)	
	32 島根県	0	0	4 (0.1%)	0	0	1 (0.0%)	
	33 岡山県	1	0	8 (0.2%)	0	0	6 (0.3%)	
	34 広島県	0	2	23 (0.5%)	0	0	10 (0.4%)	
	35 山口県	0	0	7 (0.2%)	0	0	6 (0.3%)	
	36 徳島県	0	0	2 (0.0%)	0	0	2 (0.1%)	
	37 香川県	1	0	8 (0.2%)	0	1	2 (0.1%)	
	38 愛媛県	4	1	17 (0.4%)	0	0	9 (0.4%)	
	39 高知県	0	1	9 (0.2%)	1	0	4 (0.2%)	
	ブロック計		6	4	80 (1.8%)	1	1	41 (1.8%)
	九州・沖縄	40 福岡県	2	3	55 (1.2%)	2	1	27 (1.2%)
		41 佐賀県	1	0	2 (0.0%)	0	0	1 (0.0%)
		42 長崎県	0	0	10 (0.2%)	1	1	8 (0.4%)
43 熊本県		1	3	13 (0.3%)	0	0	8 (0.4%)	
44 大分県		0	0	2 (0.0%)	0	0	4 (0.2%)	
45 宮崎県		0	0	2 (0.0%)	0	1	3 (0.1%)	
46 鹿児島県		1	0	13 (0.3%)	0	0	8 (0.4%)	
47 沖縄県		1	0	15 (0.3%)	1	1	21 (0.9%)	
ブロック計		6	6	112 (2.5%)	4	4	80 (3.6%)	
合計		179	162	4,519 (100.0%)	79	85	2,236 (100.0%)	

※「前回」は、3ヶ月前の統計 厚生労働省

2. エイズ患者・HIV感染者の届出数の推移（長野県）

(1) 患者・感染者別

区分	元年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	合計
エイズ患者	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	1 (—)	2 (—)	7 (1)	5 (4)	9 (7)	13 (7)	13 (7)	8 (6)	15 (9)	73 (41)
HIV感染者	1 (—)	7 (1)	26 (—)	38 (3)	7 (2)	13 (3)	13 (4)	19 (7)	8 (2)	18 (7)	11 (6)	8 (4)	7 (4)	176 (43)
合計	1 (—)	7 (1)	26 (—)	38 (3)	8 (2)	15 (3)	20 (5)	24 (11)	17 (9)	31 (14)	24 (13)	16 (10)	22 (13)	249 (84)

(2) 感染原因別

原因別	元年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	合計
異性間の性的接触	— (—)	7 (1)	26 (—)	37 (3)	7 (2)	12 (3)	11 (4)	18 (8)	11 (7)	18 (11)	21 (11)	16 (10)	14 (9)	198 (69)
同性間の性的接触	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	1 (1)	2 (2)	— (—)	— (—)	1 (—)	4 (3)
静注薬物乱用	— (—)	— (—)	— (—)	1 (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	1 (—)
母子感染	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	1 (1)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	2 (1)
不明	1 (—)	— (—)	— (—)	— (—)	1 (—)	3 (—)	9 (1)	5 (2)	5 (1)	10 (1)	3 (2)	— (—)	7 (4)	44 (11)
合計	1 (—)	7 (—)	26 (—)	38 (3)	8 (2)	15 (3)	20 (5)	24 (11)	17 (9)	31 (14)	24 (13)	16 (10)	22 (13)	249 (84)

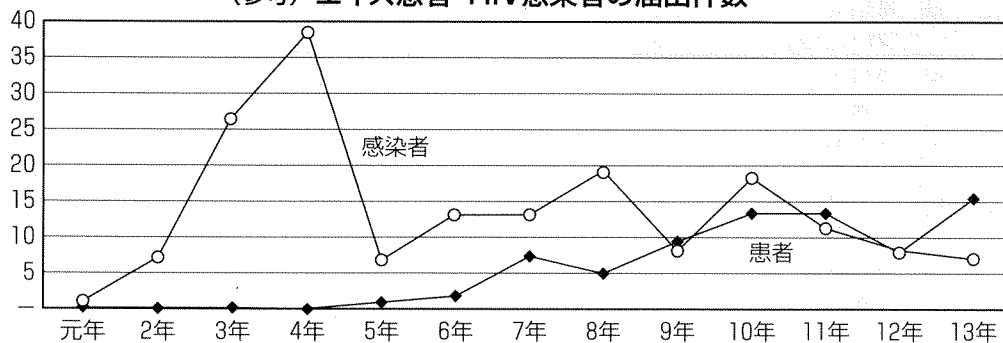
(3) 年齢区分別

年齢区分	元年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	合計
20歳未満	— (—)	2 (—)	7 (—)	6 (—)	— (—)	— (—)	— (—)	1 (1)	— (—)	2 (1)	— (—)	— (—)	— (—)	18 (2)
20～29	1 (—)	3 (—)	18 (—)	28 (—)	6 (1)	10 (2)	12 (1)	10 (2)	8 (2)	9 (—)	7 (1)	4 (—)	4 (3)	120 (12)
30～39	— (—)	1 (—)	1 (—)	3 (2)	— (—)	4 (—)	5 (1)	10 (5)	5 (3)	7 (2)	6 (1)	4 (2)	9 (6)	55 (22)
40～49	— (—)	1 (1)	— (—)	1 (1)	2 (1)	1 (1)	2 (2)	1 (1)	— (—)	9 (7)	3 (3)	2 (2)	7 (3)	29 (22)
50～59	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	1 (1)	2 (2)	3 (3)	2 (2)	4 (4)	5 (5)	2 (1)	19 (18)
60～69	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	1 (1)	2 (2)	3 (3)	1 (1)	— (—)	7 (7)
70～79	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	1 (1)	— (—)	— (—)	1 (1)
合計	1 (—)	7 (1)	26 (—)	38 (3)	8 (2)	15 (3)	20 (5)	24 (11)	17 (9)	31 (14)	24 (13)	16 (10)	22 (13)	249 (84)

注 平成13年12月30日現在、()内は日本人(再掲)である。

「後天性免疫不全症候群の予防に関する法律」施行時(平成元年2月17日～平成11年3月31日)は、凝固因子製剤が原因とされている者は報告の対象から除外されている。

(参考) エイズ患者・HIV感染者の届出件数



衛生部保健予防課